

第8期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)に対するパブリックコメント実施結果

令和3年1月19日から令和3年2月18日までの間、第8期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について、パブリックコメントにより、ご意見を募集したところ、次の2件のご意見等が寄せられました。これらの意見等に対する津山市の考え方を掲載しておりますのでご覧ください。
貴重なご意見をありがとうございました。

◎ 寄せられたご意見と津山市の考え方

No.	ご意見等の概要	津山市の考え方
1	<p>P65 【若年性認知症への理解の促進】</p> <p>・一般的には、認知症＝高齢者という考えが強く、若年性認知症対策は遅れていると感じています。介護サービスも高齢者向けで若年性認知症の方は利用しにくいと思います。例えば、専用の施設を建てるなど、もっと具体的な計画を策定してほしい。そして生活に不安を持っている家族への支援を検討していただきたい。</p>	<p>本計画では、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で生活が続けられる地域の実現を目指しており、若年性認知症についても、地域包括支援センターにおける相談窓口の設置、市民への理解啓発に取り組むこととしております。若年性認知症になっても、安心できる居場所を見つけられ、社会との繋がりを断たれることなく生活が継続できるよう、既存の介護保険サービス事業所への理解啓発や、職域への理解啓発にも、関係機関と協力し取組んで参ります。</p>
2	<p>P58 【③高齢者の交通施策の充実】</p> <p>・近隣他市(美作市、美咲町)のように高齢者に向けた福祉タクシーなどの移動支援を考えて頂けないでしょうか。「身体障害者や透析を行う為のタクシー利用券の交付があり、助かっている」という言葉をよく耳にします。高齢者の移動手段について踏み込んだ対策が欲しいです。近隣他市のように前期高齢者からを対象にするのではなく、後期高齢者からと対象を狭めて考えてみてはどうでしょうか。 ごんごバスも高齢者に向けた素敵な移動支援だと思います。ですが、実際に身体不自由の方が福祉用具を用いた状態で直接目的地に到着できる訳ではなく、バス停なので使いにくいと思われます。ごんごバスの空運転(利用者が乗車していない状況)もよく見るので路線の見直しをして、車椅子で過ごされている方などに向けた移動支援の追加を検討頂きたいです。</p>	<p>公共交通は、だれもが使うことができ、できるだけ利用しやすくと観点で、ごんごバスへの低床車両の導入や公共交通が利用できない交通空白地の解消に向けた検討・実施をしております。 しかしながら、対象者を特化した移動手段として公共交通を運行することは難しく、様々な要望に応えられていないことも理解しております。 今回頂いたご意見を踏まえ、支援策を検討して参ります。</p>